

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 24 日作成)

小委員会名	高齢者居住小委員会		主 査 名：大原一興 就任年月：2002 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する高齢者の居住の場の実態を踏まえ、その場づくりのための計画理念を構築する ・高齢者居住の先進的な試みの現地における事例評価と考察を通じて、これからの高齢社会の居住環境を総合的に考察する 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：2004 年に 3 名公募		
	主査：大原一興(横浜国立大) 幹事：藤岡泰寛(横浜国立大) 委員：浅沼由紀(文化女子大) 在塚礼子(埼玉大) 井上博文(東北工大) 小川正光(愛知教育大) 児玉義郎(日本福祉大) 桜井康宏(福井大) 佐藤由美(市浦ハウジング&プランニング) 野口孝博(北大) 畑聰一(芝浦工大) 三浦研(大阪市大) 宮崎幸恵(東海学園大) 横山俊祐(大阪市大) 若林明(鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	事例検討 WG：最近建設された事例の多面的評価 論文集刊行 WG：委員の論文を集約した論文集の刊行に向けた編集と情報収集		
2005 年度予算	485,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	高齢者居住をめぐる計画的視点(9)施設から外に出る 参加者数 18 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	高齢者居住の場に関する各地の新しい動きに接し、地域特性や他の世代との一体的活動の必要性が考えられ、今後さらなる議論の展開の必要性を感じている。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 3 回の現地調査は、いずれも新しい試みとして興味深い事例であり、情報の先進的な把握と評価、その調査研究には成功している。 2. 論文集の刊行については具体的に出版社との交渉が進んでいない状況。
委員会活動の問題点・課題	1. 貴重な実例であるにも関わらず、多忙な委員が多いため事例調査の日程が確保しづらかった。 2. 論文集の早期編集と刊行の実現を目指す必要がある。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。